

## 疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科  
肝胆膵病態内科学

【研究課題名】 HBV 再活性化に関する疫学調査

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2019/8/31

【研究の意義・目的】

化学療法や免疫抑制治療における HBV 再活性化についてそのガイドラインが提示・推奨されている。最近、類似する病態が化学療法や免疫抑制治療以外からも報告されている。そこで各種疾患・治療における HBV 再活性化の頻度を明らかにし、その結果に基づいてガイドラインの検証と新たな予防対策を提案する。

【研究の方法】

(1) 研究デザイン

後ろ向き観察研究

(2) 実施方法

当科および連携施設に通院歴のある HBV キャリア、あるいは HBV 感染既往例の患者を抽出し、診療録を参照して HBV 再活性の有無と臨床経過に関する診療情報を調査する。。

【研究組織】

研究代表者 田守昭博

HBV 再活性化・DAA 分科会 事務局

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 田守 昭博

住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話 06-6645-3811

FAX 06-6645-3813

E-mail shoukaki-lbp@med.osaka-cu.ac.jp